

山間地の厳しい環境で営まれてきた 水田農業と米のおいしさを体感する

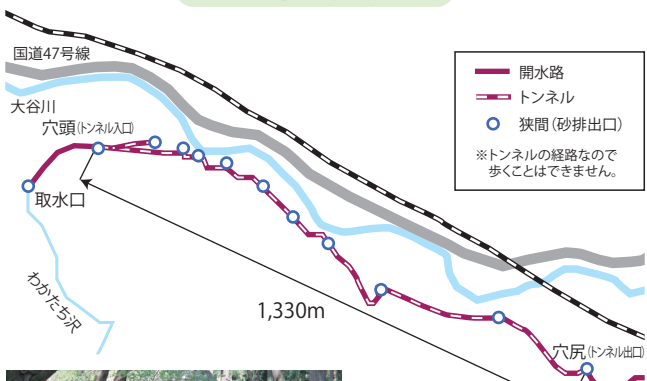
今も使われる江戸初期の潜り穴(トンネル水路)

鳴子温泉からさらに上流にある南原地区は、標高が高く、近くの河川との間に山があるため、田んぼに水を運ぶことが難しい地域でした。

そのような地域に河川から水を引くため、当時の人々が考えたのは、山に水路用のトンネルを掘ることでした。1644年から、役人である遊佐平衡門直次の指揮のもと、人々はコツコツと地道に手だけで山を掘り抜いたのです。それが「南原穴堰」です。総延長は1,880mで潜り穴と呼ばれるトンネル部分が1,330mもあります。トンネルには、途中「狭間」と呼ばれる横穴があり、清掃の際には土砂の排出用に使われました。

「南原穴堰」は、370年の時を経た現在においても、当時とほぼ同じ形で残っており農業用水や生活用水として利用され、南原集落の水田25haを潤しています。

穴堰の経路



【堰の清掃「堰払い」】

農業用排水路・柵の泥・土砂を排出しスムーズな水の流れを確保するための水路清掃「堰払い」を春と秋に年2回行うことで、南原の水管理を維持しています。

鳴子の米プロジェクトの取り組み 「ゆきむすび」誕生へ

近年は、過疎化や、標高が高いため冷害になることも多い鳴子の農業に対する危機感から、2006年、「鳴子の米プロジェクト」がスタートしました。これは古川農業試験場で開発された、寒さと病気にも強い低アミロース米「東北181号」を試験栽培し、さらには美味しい食べ方の研究を進め、ファンを根付かせるもので、自分たちで考え名付けた「ゆきむすび」は、品種登録が認められました。

プロジェクトでは、つくる人と食べる人が支えあい、みんなの力で地域の農を守るために、共感した温泉旅館や都市部住民が前払いでお米を購入しています。農家が安心して米を作ることができ、様々な人が一緒に鳴子の農業を支えています。



【鳴子の米「ゆきむすび」】

「ゆきむすび」はモチモチと粘りがあり、冷めても硬くなりにくい特徴がある希少米です。2009年には、「第3回あなたが選ぶ日本一おいしい米コンテスト」で最優秀賞を受賞。「むすびや」で美味しいおにぎりを食べることができます。

鳴子の米プロジェクトの活動に参加しませんか？



春は田植え、秋は稲刈りといった体験交流会を行っています。おいしい「ゆきむすび」ができるまでと一緒に体感してみませんか。

【鳴子の米プロジェクトHP】
<http://www.komepro.org/>

Naruko's Four Seasons

春

春は、田んぼに水を入れる時期。水の温度が低すぎることを避けるために、田んぼを囲むように水路を設置し、迂回させる中で徐々に水温を上げる「ぬるめ水路」が見られます。(散策ルート⑤)



秋

稲がたわわに実り、待ちに待った収穫の時期。新米のゆきむすびが味わえます。また、紅葉名所としても人気のある本地域は、ウリハダカエデ、イタヤカエデ、タカノツメなどが鮮やかな赤や黄で彩る景色に出会えます。



夏

田んぼが青々となるこの時期、夜にはホタルが飛び交い幻想的な風景を見せてくれます。南原地区の上流部にあるホタルの里は、ゲンジ、ヘイケ、ヒメボタルの3種類を見ることができる、全国でも珍しい場所です。(More Pick UP 南原ホタルの里)



冬

雪深い鳴子温泉地域鬼首では、雪中でわらと豆鼓を苗に見立てて、雪に差し込み、豊作を祈る「雪中田植え」という農耕儀礼を代々継承しています。



START GOAL **1** なかやまだいらおんせんえき **中山平温泉駅**

JR陸羽東線中山平温泉駅がスタートです。駅を出て左へ、大谷川をわたり、集落と山間地を歩き、南原穴堰を目指します。



2 みみづくホール

南原の集会所であり、地域の活動拠点となっている「みみづくホール」には、大崎耕土案内板が設置されています。大崎耕土案内板では、南原穴堰、ぬるめ水路の動画を見ることができます。

■住所 / 大崎市鳴子温泉 字南原 9-3



おすすめルートプラン 移動時間: 約1時間10分

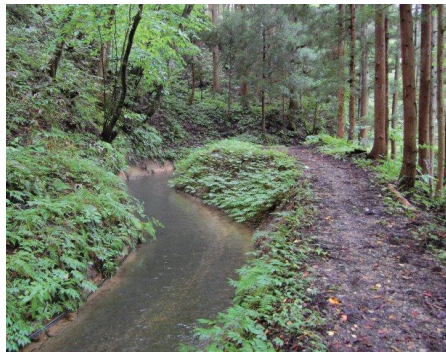
- START
- 1** 中山平温泉駅
- ↓ 1.3km 17分
- 2** みみづくホール
- ↓ 700m 9分
- 3** 南原穴堰・入口
- ↓ 200m 3分
- 穴尻
- ↓ 800m 11分
- ↓ 600m 8分
- 4** ぬるめ水路
- ↓ 2.1km 28分
- 5** むすびや
- ↓ 200m 3分
- GOAL
- 1** 中山平温泉駅



みなみはらあなざき **3** 南原穴堰

みみづくホールから徒歩15分。南原の水田に沢水を運ぶ用水路を辿ると、穴尻にたどり着きます。穴尻の奥は1,330mのトンネルが続き、取水口へと繋がっています。穴堰入口部分は民地なので、住人の方がいらしたら、一声かけてください。

■住所 / 大崎市鳴子温泉字南原 54-1



すいろ **4** ぬるめ水路

みみづくホールへ戻る道すがら、一面の水田風景を通ります。途中「ぬるめ水路」と呼ばれる山間地ならではの工夫があります。寒冷山間地で、田んぼへの水が低温になりすぎないよう、水田を囲むように水路を設置し、迂回させることで直接的な低温灌水を回避し、特に寒さの厳しい山間地では、水田一枚をぬるめに利用しています。

大崎耕土案内板の動画で見たぬるめ水路はこの付近にあります。

■住所 / 大崎市鳴子温泉字南原 29



なるここめ **5** 「むすびや」

鳴子の米プロジェクト

南原橋を渡し、踏切を越えると、地元のお母さんが握ったゆきむすび100%のおにぎりと地場産のあたたかいお味噌汁が食べられます。

地域の情報発信もしているため、鳴子の米プロジェクトをもっと知りたい方はぜひ足を運んでみてください。

- 電話番号 / 0229-29-9436
- 営業時間 / 11:30 ~ 13:30
- 定休日 / 毎週水曜日
- 住所 / 大崎市鳴子温泉字星沼 77-84



More Pick UP!!



穴堰開削の功績者 遊佐大神の碑

南原穴堰を開削し、山間部の南原集落を稲作地帯とした功績から、遊佐平左衛門宣次は「遊佐大神」と称えられました。

■住所 / 大崎市鳴子温泉川端71

南原ホテルの里で鑑賞



■住所 / 大崎市鳴子温泉南原189

国道47号の南側に広がる豊かな田園地帯。この澄んだ水で育つホタルの群舞が観られます。中でもゲンジホタル、ヘイケボタルの2種が飛び交い、ヒメボタルも生息する全国でも珍しい共生域となっています。

しんとろの湯で休息



■電話番号 / 0229-87-1126 ■営業時間 / 9:00 ~ 21:30 ■住所 / 大崎市鳴子温泉字星沼18-9

中山平温泉駅から徒歩11分。しんとろの湯は、美肌効果が有するメタケイ酸が通常の約5倍も含まれています。加水をせず93.0℃の源泉を自然冷却するため、約200mの木桶を設置しお湯を通していただきます。